



2021～2022 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI 会長テーマ

会 長 志田 成樹

副会長 菅野 嘉洋

幹 事 三田地 大悟

= 会長指針 =

多様性を尊重し、

未来につなげる

．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第5週例会 2021年 9月30日（木）

ソング：奉仕の理想

ボックス：24,000円（報告者 浜田浩誠会員）

本日出席率：64.86% 前回修正後100%（メンバー15名）

（報告者 熊谷雅也会員）

濱守会員へ米山奨学会より

寄付への感謝状贈呈

第8回マルチプル



★ 会長の時間：志田成樹会長



RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）について。

クリフ・ダクターマン元 RI 会長は、ロータリーの世界で最も注目しなければならないことは、ロータリー創始後、100 年を経て、近年、社会構造も変化し、何よりも人や社会に対する意識が変わって来ていること、特に事業や職業の世界が激変していることを考慮すべきだと述べています。

そして、青少年や婦人層のロータリアン世代間の意識や感覚に大きなギャップが生じており、社会や文化に対する相互の認識や価値観が違って来て、ロータリー活動のあらゆる面で、複雑で矛盾した現象を呈していることを指摘しています。

このような、異なった価値観や矛盾を埋めるためには、私達は、その要因である根本的な問題点を整理し、充分に話し合い、ロータリー世界の理解を進めない限り、今後のロータリーの発展は望めないと思われるかと語っています。

※ ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）とは！

アメリカから始まり、全世界に広まりつつある(RLI) ロータリー・リーダーシップ研究会の活動は、まさに草の根の活動であり、RLI はロータリアンの知識を啓発し、また、将来のロータリークラブの指導者を養成するための全世界の地域と地区の連合体組織です。RLI はロータリーの組織や活動に関して、正しく、深い知識を持ち、高い教育的な経験を備えた指導能力のあるロータリアンを支援するために活動しており、日本のロータリー米山記念奨学会と同じ様に、RI が承認した多地区合同プログラムです。この RLI の活動は、私達日本のロータリアンにとっても共鳴するところが多々あります。

私達は、日本の文化やロータリー活動の特徴を取り入れながら RLI に参加し、クラブやロータリアンの理解や指導力を高める活動を進めて行けば、必ず日本のロータリー活動の発展に寄与出来ると思っ

います。

また、RLI の研修は、クラブや一人一人のロータリアンにロータリーを理解してもらい、ロータリーの組織や活動を知り、将来、ロータリー活動の指導力を発揮できる人に焦点を当てるもので、特定のロータリーの役職にある人に焦点を合わせるものではありません。

となっています。

自分も参加してみて、改めて世界中にいる国際ロータリーの会員の一人なんだなと、とても刺激になりました。RLI 自体は、入会 3 か月から 20 年の会員の方々が参加していましたが、知らないことは知らないと言える気軽な勉強会でした。

ロータリーについてはもちろんですが、他クラブの会員の方々の考え方やしゃべり方など、違う意味でも勉強になりました。

今年度は、西クラブの熊谷雅也会員が RLI 委員会の副委員長として参加されています。

とても心強いのでこの機会に是非参加してみてください。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 ガバナー事務所より RLI パートⅡ参加者募集案内が届いています。

日 時 11月6日(土)10時～15時 ZOOM 開催

テキスト代 1,000 円 締め切 10月22日

- 2 福島西ロータリークラブより

令和3年度甲子園野球東北地区親睦大会 地区代表者会議開催案内が届いています。

日 時 10月23日(土)14時～16時 場 所 ホリデイイン仙台

参加人数 2名以上 参加費 1名 3,000 円 締め切 10月15日

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

- ★ 藤丸数子青少年奉仕委員長 東高校文化祭時の当クラブ例会・文化祭見学は中止となります。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆ 青少年奉仕アワー

- ★ 藤丸数子青少年奉仕委員長



本日は「青少年奉仕」についてということで、お話したいと思います。資料はございませんので、そのままお聞きください。それではよろしく願いいたします。みなさんをご存じのことばかりかと思いますが、知識が不十分な私にお付き合い頂きまして、ロータリーの目的から再度確認していきたいと思っています。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。

具体的には次の条項を奨励することにあります。

- ・第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- ・第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- ・第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- ・第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

また、ロータリーはクラブ活動の土台となる奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。奉仕部門はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5つとなっております。その中で青少年奉仕についてですが、青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

青少年への奉仕の目標としては、

1. 大人への成長過程にある青少年に影響を及ぼす都市及び農村の状況と要素を実際に即して知り、理解しようとする事。
2. 青少年にとって（a）健康体、（b）均衡のとれた教育、（c）精神的資質の滋養、（d）職業の賢明なる選択及び、（e）十分な職業予備教育がいかに重要かを認識すること。
3. RC並びに個々のロータリアンに対し青少年関係の活動を奨励すること。ロータリアンは青少年活動の最高の適格者であり、青少年活動を通じて最大の奉仕を行うことができる。
4. 地域社会に対して個人の負う責務を認識することを通じて青少年に善良な市民精神を鼓舞すること。これによってのみ、地域社会の一員たる特権が保持されるのである。
5. 青少年の心の中に世界情勢の理解をはぐくみ、自国ばかりでなく他国の国民に対しても適正な態度を取るよう推進すること。
6. （a）ロータリアンと青少年の個人的接触、（b）年代の異なるグループ、例えば青少年と成人とか青少年と両親といったグループ間の意思疎通を図ることに関する研究、及び、（c）他国の青少年との直接、間接の接触を実現するための手段、方法の促進を図ること。 とあります。

青少年奉仕は青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域共同隊、ロータリー地域社会共同隊、身体障害者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としているので、青少年奉仕委員会はこの目的に従って活動していくことになろうかと思います。

その中のインターアクトについてです。

インターアクトクラブとは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相互に活動する機会を青少年に与えるために結成されます。入会できるのは高校に在学中の生徒または年齢14歳から18歳までの若い人です。

インターアクトクラブの目標は

1. 建設的な指導力を要請し、自己の完成を図ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を滋養すること。
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する概念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、

各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。

6. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。

7. 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。

8. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。とあります。

また、ロータリーにはクラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（R I）理事会が指定した特別月間や、特別週間というものもあります。青少年奉仕委員会に直接関連する行事としまして、11月に世界インターアクト週間があります。R I 理事会はロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として順守するように奨励しています。ロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためとのことです。

3月には世界ローターアクト週間があり、1993年にR I 理事会はR Aの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」として祝うことを、ロータリークラブとローターアクトクラブに奨励しています。ロータリークラブには、地元のローターアクトクラブとの共同プロジェクトや親睦活動に参加するよう、呼びかけを行っています。参加により、ロータリアンはローターアクターから若いエネルギーや新しいアイデア、また労力を得ることができますし、ローターアクターはロータリアンから深い知識や経験を学ぶことができるとされています。

5月は青少年奉仕月間となっております、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てることとなっております。ロータリークラブはこの月間中、クラブのニューズレターやその他の広報資料に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用するよう奨励されています。

ということで、今日は青少年奉仕についてお話をしました。

これから委員会活動を進めていく際には、インターアクトクラブや会員みなさんと新たな活動方法やかかわり方を検討していく必要があると思っております。オンラインの活用等も含めてどのように活動していくことがいいのか皆さんのご意見を頂戴しながら進めていければと思います。

私からの発表は以上となります。本日はご清聴賜り、ありがとうございました。これからも皆様からのご指導を糧に、精進していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

育みの像清掃出席者(敬称略)

9月 9日 出席者：新沼達央 紀室綾子 藤原太伸(写真無)

16日 出席者：浜田浩誠 鈴木秀樹 山口 徹 →

